

令和 7 年度 第 2 回長野市立図書館協議会開催概要

1 日 時 令和 8 年 2 月 16 日 (月) 午後 2 時 00 分 ～ 午後 3 時 45 分

2 場 所 長野図書館 3 階視聴覚室

3 出席者

(1) 委員 10 名 齋藤直人委員長、風間悦子委員長職務代理、石坂晶子委員、海沼桂子委員、嘉瀬豊子委員、児玉康子委員、関川あかね委員、花岡章子委員、向紀男委員、柳沢久子委員

(2) 事務局 10 名 教育次長 前島 卓
家庭・地域学びの課長 藤原慶治、主事 徳武朋香
長野図書館長 稲葉聡子、主幹兼館長補佐 小山陽代、館長補佐 鈴木正文、係長 人見一由
南部図書館長 峯村八郎、館長補佐 市川文彦、主査 青木紗耶香

4 次 第

(1) 開 会

(2) 教育次長挨拶

(3) 委員長挨拶

(4) 協議事項

ア 令和 7 年度事業実績について

イ 令和 8 年度事業計画(案)について

ウ その他

(5) その他

(6) 閉 会

5 議事内容

(1) 開 会 <開会のことば>

(2) 教育次長あいさつ

教育次長： 本日は大変お忙しい中、また昨日の春のような陽気から一転して非常に肌寒い日になっているが、そのような日の中、令和 7 年度第 2 回目の長野市立図書館協議会にご出席いただき感謝申し上げます。委員の皆様におかれては、日頃から行政、とりわけ図書館にはご理解ご協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて本年度は長野市立図書館が、昭和 60 年 7 月の開館から 40 周年を迎える年度となった。委員の皆様には、9 月の記念式典にご出席いただき重ねて感謝申し上げます。記念事業としては、記念式典後の郷土料理研究家横山タカ子先生による講演会をはじめ、ナイトライブラリーとして夜間の映画上映、大人向けのおはなし会、ジャズライブなど開催したところ、大変多くの方々にご参加いただいた。中には、そのイベントをきっかけに初めて図書館に来られた方もいらっしゃり、継続して図書館をご利用いただけるよう、様々なイベントも今後

充実していかなければいけないと考えている。

続いて、昨年 12 月に 6 年ぶりになる図書館システムの更新を行った。今回のシステム更新により、スマートフォン利用者のバーコード表示や LINE と連携して資料検索や予約もできるようになった外、スペースの都合で長図書館のみの設置だが、予約本の受け取りロッカーとデジタルサイネージを新たに導入した。予約本受け取りロッカーは、本日図書館入口右側にあったのをご覧いただけた委員さんもいらっしゃると思うが、外にあるので、予約した本を 24 時間 365 日お受け取りいただくことが出来るようになった。

また、図書館に入って正面のデジタルサイネージは、画面を触るとどんどん次から次へと新しい情報が出てきて、新着本、特集本案内、イベントなどのさまざまなお知らせの表示がされ、ひとつの画面で効率よくご覧いただける。そのように色々と進歩しており、利用者の皆様には大変好評をいただいている。

続いて南部図書館に関する話題だが、南部図書館では読み聞かせ講座を開催している。昨年度にそこで学んだ受講生の皆さんにより新たな読み聞かせボランティアグループが結成された。このグループの皆さんは、今年度の図書館まつりや毎月開催しているおはなし会で読み聞かせを実施していただいている。今年度も読み聞かせ講座を開催しているが、来年度は更に上級編を含めた講座の開催を予定しており、読み聞かせボランティアの育成をさらに進めて行きたいと思っている。

話題の最後になるが、今日も肌寒い中ではあるが、間もなく長野市に春の訪れを告げる長野図書館名物のロトウザクラが開花する季節となる。昨年は 3 月 21 日で例年より若干遅かったということだが、今年はいつごろになるか、また楽しみにしていただければと思う。本日は、令和 7 年度の主な事業実績と令和 8 年度の事業計画についてご協議をお願いしたいと思う。

また、前回の会議で委員さんから中核市の中での市立図書館の状況について、資料をお出しした。若干ちょっとどうなのだという内容もあるが、それについても後程説明させていただく。市立図書館が今後もより親しまれ利用しやすくなるよう、委員の皆さんには、忌憚のないご意見を頂戴いただきますようお願い申し上げます。

(3) 委員長あいさつ

委員長： 委員長の齋藤です。よろしくお願いします。私も式典に参加させていただいたが、システム更新において、かなり新しいものが導入され有効なものが多いと思った。それでは会議に移らせていただく。スムーズな会議が行われるよう委員各位のご協力をよろしくお願いします。

(4) 協議事項

ア 令和 7 年度事業実績について

事務局より説明（長野図書館、南部図書館）

委員： 職業体験実習、司書過程実習、インターンシップとあるが、何が違うのか。

事務局： 司書課程実習とインターンシップは一週間ほど、司書課程を取得のための研修。

職場体験は、図書館の業務体験となる。

委員：親子わくわくフェスタについて、具体的にはどのようなブースで出展されたのか。

事務局：家庭・地域学びの課の主管で、申込制の色々な教室等あり、図書館ブースでは簡単な工作(フライパンでホットケーキを作るようなもの)や図書館で開催しているおはなし会の紹介や利用案内など置いて、図書館に来てくださいという PR 等を行った。

委員：利用状況について近年減っている原因は何か。

事務局：12 月に 2 週間休館して休んでいたのが一番減った原因。

本来は 6 月に 2 週間休館するところ、今年は 1 週間に減らして、12 月のシステム更新時に 2 週間休館したことが影響していると思われる。

イ 令和 8 年度事業計画について

事務局より説明（長野図書館、南部図書館）

委員長代理：当初図書資料を 15,000 冊購入とのことだが、2028 年に国スポ、昔の国体が長野県で開催されるので、それに関わる人も非常に増えてくると思うので、スポーツ関係の本とかスポーツ栄養の本を順次揃えていってほしい。

事務局：出版など多くなると思うので確認していく。

委員長：本年度の受入れは、11,000 冊くらいだが、増やすということか。

視聴覚資料も 100 点から 200 点で同じで良いか。

事務局：資料は 12 月までのものなので資料訂正願いたい。予算については、本年度同額。

委員：図書館と小中学校との連携について、第 1 回の時にも話題として出したが、市、上水内小中図書館部会は、図書担当委員となった学校が持ち回りで事務局を担当している。読書感想文関係や県図書館大会役員なども小中学校図書館司書や担当教員で回している。本年度は当校で事務局をやっているの、各市立図書館の行事や図書館ニュースなど、学校では参観日などで保護者が来校するので、紹介など幅広く周知できる。学校で図書館の先生から発信など進めてもらうことも一つの連携事業としての位置づけにもなるのではないかとと思うので、小中学校を活用していただくよう検討してほしい。

委員： 昨年の秋の新聞に、児童生徒が 1 カ月 2 冊も本を読まない子が 50%と書いてあったのを見た。子どもの読書離れが気になる。長野図書館、南部図書館もおはなし会や色々なイベントを行っていただき、本に親しむ機会を作っていただきありがたいと思う。先ほどの話にも合ったように広報に掲載や学校にポスターやチラシを貼ってもらい、おはなし会などに子どもが参加することで、より親しく読書ができるようになると良いと思う。

事務局： ご提案いただき、そのようにやっていきたい。おはなし会の内容により、小学生のおはなし会みたいなことも検討していかなくてはいけないと思う。

事務局： 保育園や幼稚園やアクセスについて、おたのしみ会はLINEを、お母さんが見てくださっている。広報掲載の場合は、保育園等には送付していない。本庁の所管や保育園幼稚園、小学校にはおはなし会関係は送っていないが、こども会や図書館まつりについては、近隣各学校へ送っている。市内全小中学校へは、送付していないが南部図書館まで遠方より

来館されている実態があるので、児童担当など内部で検討し、PTA などのメール利用も検討していく。

事務局： 長野図書館もイベントなどの情報を周知しているが、あまりやりすぎて規模を拡大しすぎると駐車場の問題もあり、新聞社の取材だけで現状はだいぶ参加いただいている。もっと良い企画を立てるよう検討していく。

委員： 学校図書館でも、ポスターやチラシなど貼って、保護者の方にも見ていただきたいので、無理のない程度に実施していきたい。

委員長： イベントに参加していただいた方に、登録してもらったらいと思う。

事務局： 8年度の計画で、一般の方向けの講座が少ないとの意見があるので、市民講座など大人の方に来館していただけるような講座も検討していきたい。それと駐車場については、信濃教育会の駐車場を借りているが、来年度が中々厳しい状況であるので今後検討調整していく。

委員長代理： 駐車場について、土日など県庁や合庁など自由に使えるといいと思うが、少し遠い気がする。

ウ その他

事務局より統計について

事務局： 日本図書館協会発行、「日本の図書館 2024 統計と名簿」、「長野県公共図書館概況」より県内 19 市の統計を抜粋した資料について説明

委員長： 中核市統計や県内図書館の特色などあり、非常に良い資料。長野市は、図書館が少なくステーションの数が多い、図書館の面積が狭いなどこれからどうするか、今後の方向性など新しいものについて投資を含めどうしたらいいかを検討していきたい。

教育次長： 長野と南部があるが、だれでも行ける距離、駐車場や環境問題、行政施設は全体に人口減少社会の中、中々維持が難しい。今後は施設を統合して複合施設化が検討されている。

南部図書館も長寿命化で 10 年使用できるようにしており、その間に今後についても検討する。また、新田町周辺をどうするかも検討している。長野図書館も年数が経っているので長寿命化をしていく段階になっているが、慎重に検討していかななくてはいけない。

委員： 松本市は図書館が 11 館もあり、人口から見ても長野市少なすぎる。

教育次長： 図書館基本計画など過去で、拠点を増やした方がよいとの議論もあったが実現できず、移動図書館とか公民館分室に至っている。

委員長： 松本市は全国的に見ても極端に多い。長野市は駐車場も含め色々あるが、理想も含め図書館についての意見はどうか。

委員： 理想は、石川県立図書館。PTA の研修会が石川県であり行ってきた。

委員： 県立図書館をよく利用している。駐車場など色々問題があるようだが、新図書館については、素晴らしいお話だと思う。

教育次長： 本日配布した資料は現状数値であり、将来につなげていく資料として認識し

てもらい、来年度協議会もあるのでご検討いただきたい。

委員： 仕事上、小学校、分室を利用している。児童対象として読み聞かせなど色々やっている。人口減少などの問題があり、利用率など増えるかもしれないが、今の図書館のままで十分素晴らしいと思う。

委員： 塩尻市の図書館は、開放的であり子どももののびのびと過ごせる場所であり、親御さんが安心して信頼が持てる施設。そのような図書館も良いと思う

(5) その他

委員： 本日差し替えということで、新たに資料を配布されたが、事前に資料を配布しているので、改めて配布しなくてよい。(各自持参)

(6) 閉 会

教育次長： 長時間にわたり、熱心にご協議いただき感謝申し上げます。本日出された意見等今後の図書館運営に反映させていただく。委員の皆様には、次年度も引き続き市立図書館運営にご協力いただきたい。